

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立土岐商業高等学校

学校番号 48

I 自己評価

1 学校教育目標	<p>(1) 職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して質実剛健・明朗闊達な校風を樹立する。</p> <p>(2) 正しい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成する。</p> <p>(3) 普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して生涯にわたって、創意をはたかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成する。</p>
----------	--

2 評価する領域・分野	学校経営	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・10割近くの保護者から、活発な部活動や、教育方針等への共感、人間としての基本的な倫理観、規範意識や自主性・創造性の育成を身に付けさせようと努めている本校の指導に対し良い評価をいただいている。本年度は特に学習環境面の充実について高評価をいただいた。今後も高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせ、相応しい服装、頭髪の指導を継続していきたい。 ・学習指導、生徒指導、進路指導等全般に対して高い評価を得ている。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力の定着 ・特色ある商業教育の推進 ・人間力を高めるための指導の充実 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・企画委員会 ・職員会議 ・各種特別委員会 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 授業改善と自宅課題で学習内容を定着 (2) 標準的な資格取得と高度な資格への挑戦 (3) 地域と連携した特色ある商業教育の展開 (4) 部活動の活性化 (5) 挨拶、マナーの敢行と交通事故、遅刻の防止 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭学習時間の調査、及び授業評価 (2) 基礎的な資格、及び高度な資格の合格状況 (3) 土岐商ショップの取り組み状況 課題研究の取り組み状況等 (4) 部活動の大会成績 (5) 遅刻数、交通事故件数 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭学習時間の把握、全職員による授業研究の実施、生徒による授業評価 (2) 学科の目指す到達目標を実現するための授業と補習の実施 (3) 土岐商ショップ、課題研究(中学生一日体験入学での生徒による商業科目の体験授業の実施) (4) 部活動の活性化 (5) 挨拶運動等による挨拶、マナーの励行と登下校指導、安全指導による交通事故、遅刻の防止 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭学習時間と教員相互評価、生徒による授業評価 (2) 資格の合格状況 (3) 土岐商ショップ、体験入学での関係者評価 (4) 部活動の成果 (5) 遅刻数、交通事故件数 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>

11 成 果 ・ 課 題	<p>○地域情報提供サイト「Tis」の継続的な運営を実施し、全校生徒が営業マンとして地域情報の収集にあたり、情報ビジネス科の3年生がサイトの作成を担当する等、全校の生徒で研究を深めることが出来た。</p> <p>○「生徒による模擬授業」（課題研究）では、生徒が自ら考案した授業を中学生一日体験入学で実施し、中学生及びその保護者からも好評であった。</p> <p>○地域イベントに「土岐商ショップ」（課題研究）年間5回出店し、昨年度より多くの生徒が地域の方々とのコミュニケーションをとる事ができた。</p> <p>○交通事故件数、遅刻回数が昨年度より減少した。</p> <p>○各種検定試験の合格率が昨年度より向上した。 （全商3種目以上1級合格者 86人→116人）</p> <p>●入学志願者の増加対策の強化。</p> <p>●家庭学習習慣の定着に向けた取り組みの充実。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>(1) 入学志願者の増加対策の強化 中学校に対するPR活動の一環として中学校訪問を実施し、3年生の担任に直接学校説明を行うとともにホームページの改定を検討する。また、独自選抜の実施方法の改善等についても検討する。</p> <p>(2) 学力の定着 今年度に引き続き、授業改善の研究と工夫・宿題や課題の提出の徹底・確実な基礎学力に基づいた資格取得の指導と高度な資格取得に対する指導を実施する。</p> <p>(3) 地域交流の推進 地域に愛され、親しまれ、必要とされる学校として各種団体と連携し積極的に活動する。</p> <p>(4) 部活動の活性化</p>		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年1月24日

【意見・要望・評価等】

学校評議委員の土岐商業高校に対する評価

- ・遅刻が大幅に減少していて、先生方の指導の成果が出ているのだと感じた。こうした取り組みが検定の合格や部活動での活躍などその他の成果にもつながっていると思う。これらの成果をもっと中学生などにも発信していくべきではないか。
- ・地域の行事について、土岐商ショップの出店やチラシの作成などの協力により活動全体がマンネリ化にならず大変助かっている。
- ・全国大会に出場することで学校だけでなく地域の力になっている。全国に土岐商を発信して欲しい。
- ・進学校にも劣らないほどの進学実績や進学先を持っているにも関わらずそのことが周知されていない。資格を取って何につながるかというところまで中学生に伝えられるとよい。「この資格を取ると大学の推薦がとりやすい」、「あの資格を持っているとこうした職業に就ける」など具体的に伝えて欲しい。